

2020年11月6日

# 2020年度 第2四半期 決算説明資料



**Meiho Facility Works Ltd.**  
Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

**明豊ファシリティワークス株式会社**

# 2020年度 第2四半期 決算サマリー



# 2020年度 第2四半期 決算サマリー

1Q

- ◆ 「新型コロナウイルス感染症対応方針」を定め、顧客及び取引先を含めた従業員の健康と安全確保を第一とし、完全なテレワーク環境で業務を実施することが可能な体制を構築

- ◆ 「ICPMA2020」 IQアワード優秀賞受賞
  - 「資生堂グローバルイノベーションセンター建設プロジェクト」
- ◆ 「CM選奨2020」 CM選奨4件受賞

2Q

- ◆ 営業利益、経常利益、当期純利益は、過去最高を記録した前年同期から減少したものの、期初予想を上回り推移
- ◆ 近隣オフィスを本社へ統合し、ニューノーマルを見据えた一層働きやすい環境を整備

※当社ホームページにて「サービス・事例 実績」「受賞 実績」を掲載しております<https://www.meiho.co.jp/ir/news/>



# 2020年度 第2四半期 決算概要



# 1 2020年度 第2四半期 決算概要 ①PL

アットリスクCM(請負契約型CM)が無くなり全てピュアCMが選択され、一部のプロジェクトの売上計上時期が第3四半期以降にずれしたこと等により、売上高は前年同期より減少しました。営業利益、経常利益、四半期純利益については、期初予想を超えて推移しております。

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

|        | 2019年度<br>2Q | 2020年度<br>2Q | 対前年同四半期 |        |
|--------|--------------|--------------|---------|--------|
|        |              |              | 増減額     | 増減率    |
| 売上高    | 2,094        | 1,785        | △309    | △14.8% |
| 売上総利益  | 1,075        | 924          | △151    | △14.0% |
| 売上総利益率 | 51.4%        | 51.8%        | -       | 0.4P   |
| 営業利益   | 388          | 277          | △110    | △28.5% |
| 経常利益   | 392          | 279          | △113    | △28.9% |
| 四半期純利益 | 272          | 183          | △88     | △32.6% |

## 2 2020年度 第2四半期 決算概要 ②BS

アットリスクCM(請負契約型CM) が無くなったことにより、売上債権・仕入債務が減少し、現金及び預金が増加しております。

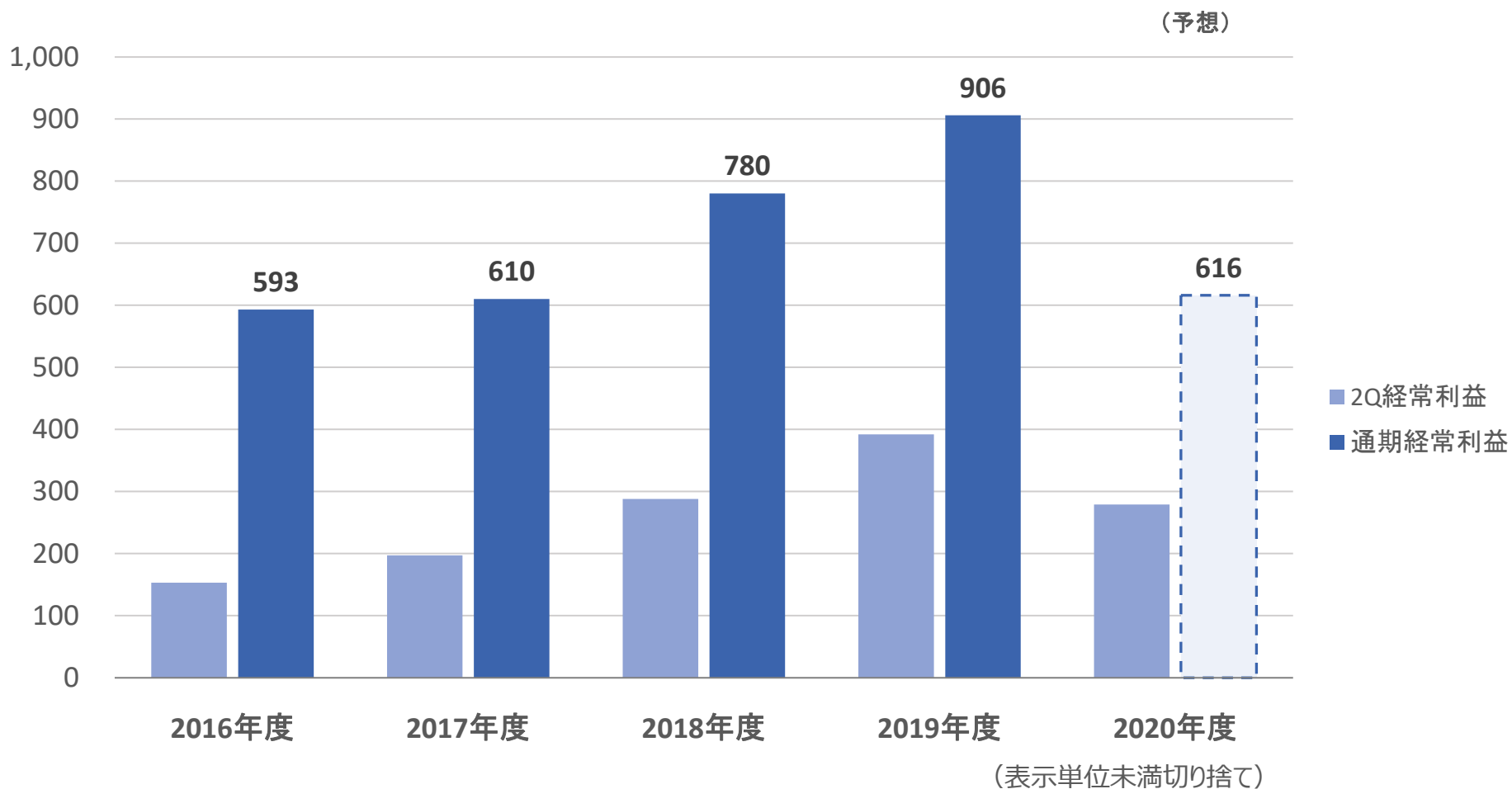
(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

|            | 2019年度末 | 2020年度<br>2Q | 対前年度末       |               |
|------------|---------|--------------|-------------|---------------|
|            |         |              | 増減額         | 増減率           |
| <b>資産</b>  | 5,519   | <b>5,243</b> | <b>△276</b> | <b>△5.0%</b>  |
| (現金及び預金)   | 1,834   | <b>2,130</b> | <b>295</b>  | <b>16.1%</b>  |
| (売上債権)     | 2,892   | <b>2,190</b> | <b>△702</b> | <b>△24.3%</b> |
| <b>負債</b>  | 1,392   | <b>1,153</b> | <b>△239</b> | <b>△17.2%</b> |
| (仕入債務)     | 32      | <b>8</b>     | <b>△23</b>  | <b>△74.1%</b> |
| (未払税金)     | 253     | <b>116</b>   | <b>△136</b> | <b>△54.0%</b> |
| <b>純資産</b> | 4,127   | <b>4,089</b> | <b>△37</b>  | <b>△0.9%</b>  |
| (自己資本)     | 4,055   | <b>4,034</b> | <b>△21</b>  | <b>△0.5%</b>  |

### 3 経常利益の推移

経常利益は、過去最高を記録した前事業年度から減少したものの、期初予想を超えて推移しております。

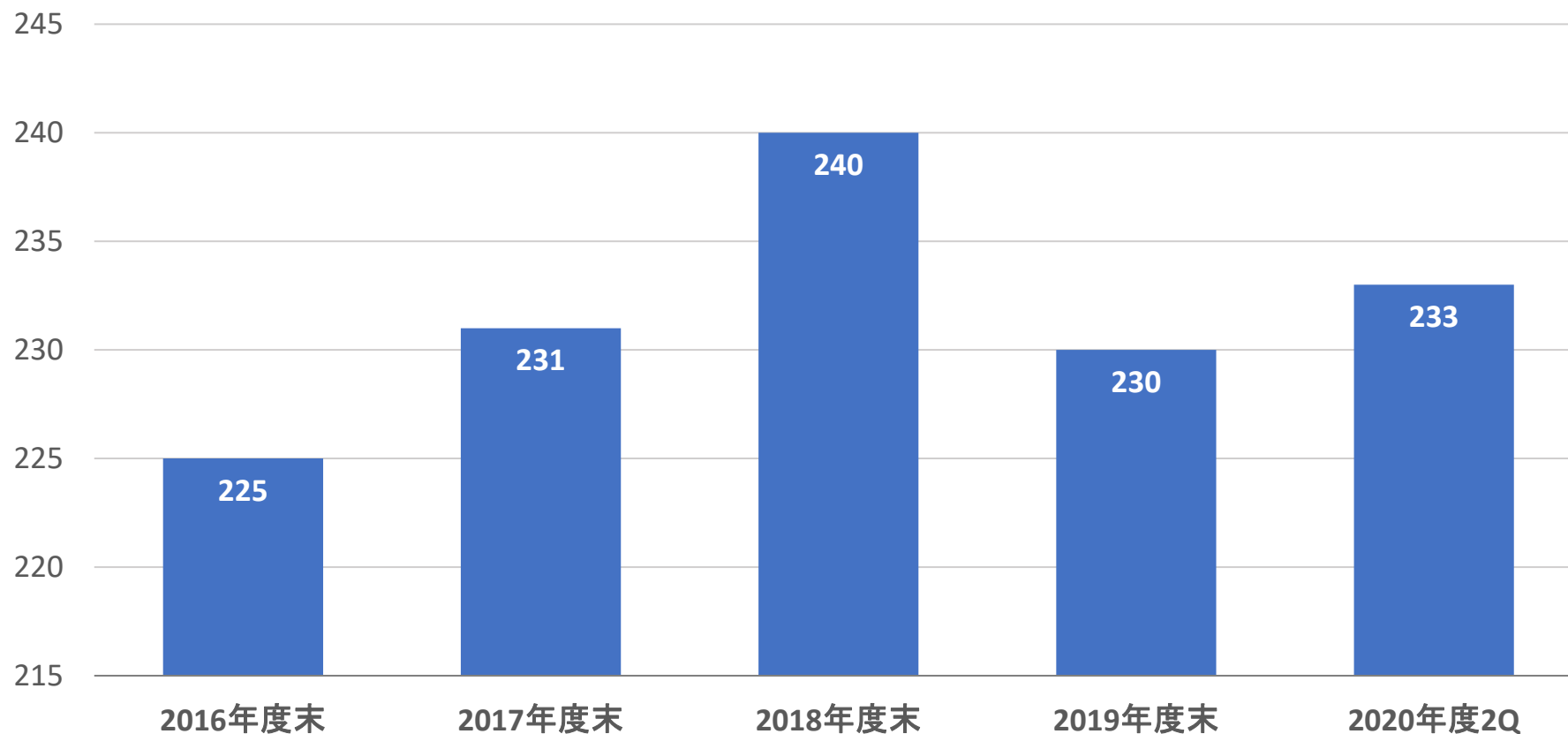
(百万円)



## 4 社員数の推移

前事業年度末に対し、当第2四半期末は3名増の233名となりました。  
引き続き優秀な人材の確保に取り組んでまいります。

(人)



(注) 役員および契約社員、派遣社員等を含む





## 5 売上粗利益の定義及び開示に関するポリシー

$$\text{売上粗利益} = \text{売上高} - \text{社内コスト以外の売上原価（工事費、外注費等）}$$

当社の売上高は、〔**フィーのみで構成されるピュアCM方式**〕と〔**フィー＋工事等の調達原価で構成されるアットリスクCM方式**〕では金額が大きく異なります。

そのため、社内では**売上粗利益〔売上高から社内コスト以外の売上原価（工事費、外注費等）を控除した金額〕**で収益の伸びを管理しております。

お客様との守秘義務契約を考慮し、今後もこれまで同様、売上粗利益の開示は控えさせていただきます。

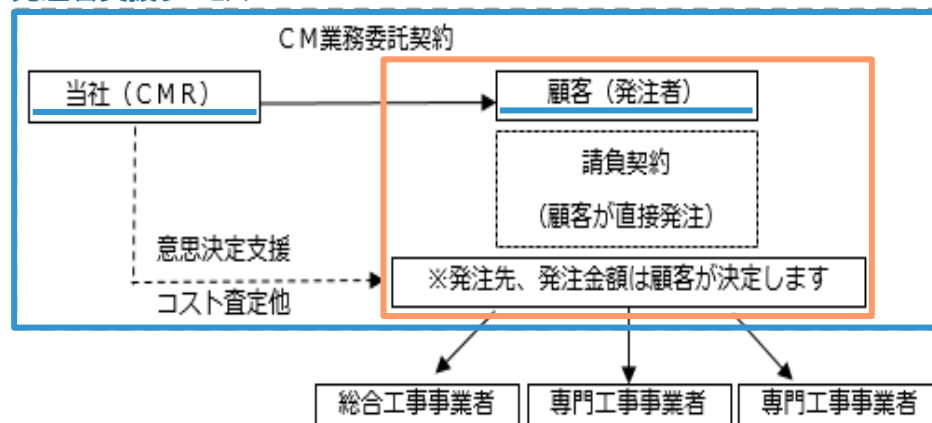
# 6 ピュアCMとアットリスクCMについて

## ピュアCM契約

顧客が施工会社各社と工事請負契約を締結し、当社は顧客とCM業務委託契約を締結する契約形態です。

当社はCM業務委託契約に基づくマネジメントフィーのみを売上計上します。

発注者支援サービス

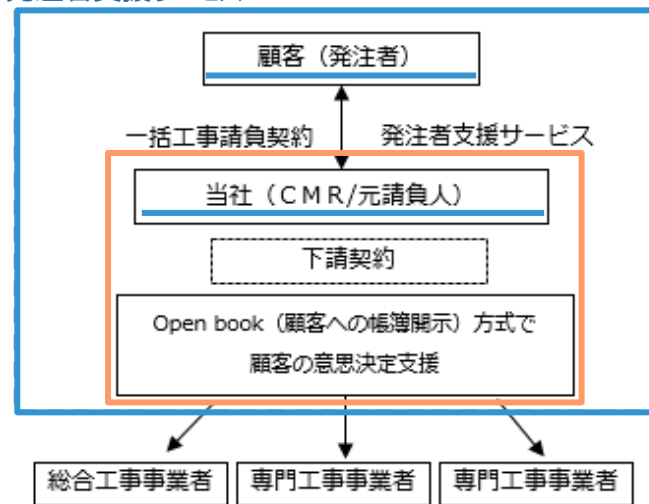


## アットリスクCM契約

ピュアCM契約と同様に、当社は顧客に対してCM手法に基づくマネジメントサービスを実施します。この契約は、顧客が施工会社各社と工事請負契約を直接締結することなく、当社との間で1本の工事請負契約を締結したいと望んだ場合に行う契約です。

当社は完成工事高（マネジメントフィーを含む）を売上計上し、その完成工事原価は、顧客の承認を得た下請工事原価を計上します。

発注者支援サービス



※ピュアCM契約と同様に、発注先、発注金額は顧客が決定します

# 2020年度 各セグメント状況



# 1 オフィス事業

- テレワークの導入を伴う「働き方改革」を支援
- オフィスの再編検討ニーズに対して、構想段階から計画、調達、引っ越しに至るまでワンストップで支援

## － 動向 －

- 大企業において「働き方改革」を伴うグループ企業の統廃合、多拠点集約化等における迅速且つコストマネジメントニーズに対応
- 大規模な新築ビルの竣工時同時入居プロジェクトなど難易度の高いオフィス事業に関するサービスを提供
- コロナ禍において、当社の18年に亘るデジタルオフィス運用実績を活かしたオフィス再編プロジェクトに関する支援への期待が向上
- 経済産業省「令和2年度業務効率化や生産性向上を目的としたオフィス環境の導入に関する調査事業」契約締結

## 2 CM事業

- 公共では、庁舎や学校等の新築・改修支援、国立大学の学舎整備事業等が増加
- 民間では、日本有数の大規模施設のCMや大型研究施設、生産施設、商業施設・私立大学の再構築支援
- 大規模施設における電気・機械設備の改修・更新のCM

### － 動向 －

- 上記様々な施設における当社のCM実績が評価され、新規顧客が増加

- 公共分野においてはCM導入実績が順調に増加

- 第1四半期：神奈川県鎌倉市、香川県善通寺市、千葉県市原市、国立大学法人琉球大学
- 第2四半期：千葉県千葉市、埼玉県春日部市、大阪府高槻市、福岡県大牟田市、愛知県、国立大学法人東京大学

### 3 CREM事業

- 大企業や地方自治体向けに、保有資産の最適化を支援
- 多拠点施設同時進行の新築・改修・移転の一元管理や、基幹設備のプロジェクト立上げから維持管理まで支援

#### － 動向 －

- 当社の透明なCM手法と、デジタル技術を活用した、保有資産情報のデータベース化による一元管理
- 多拠点同時進行プロジェクトの状況を可視化し、進捗状況を効率的に管理するシステムを構築
- 複数の商業施設や支店等を保有する大企業・金融機関から継続的に受注
- 公共分野からは、保有する公共施設の長寿命化支援等を、継続的に受注

# 2020年度 業績予想



# 1 2020年度 業績予想

2020年度の通期業績予想は、見通し困難な中、当社オフィスの統合等の中期的な取り組みを予算化し、新型コロナウイルスの影響等を考慮し、経常利益 対前年比 △290百万円を見込んでおります

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

|                    | 2019年度 | 2020年度             | 前年度比    | 増減率    |
|--------------------|--------|--------------------|---------|--------|
|                    | 通期     | 通期                 |         |        |
| 売上高                | 4,353  | <b>3,945</b>       | △408    | △9.4%  |
| 営業利益               | 902    | <b>616</b>         | △286    | △31.8% |
| 経常利益               | 906    | <b>616</b>         | △290    | △32.0% |
| 当期純利益              | 639    | (※1) <b>415</b>    | △224    | △35.1% |
| 自己資本当期利益率<br>(ROE) | 16.7%  | <b>9.9%</b>        | —       | △6.8P  |
| 1株当たり当期純利益         | 52.98円 | <b>33.81円</b>      | △19.17円 | △36.2% |
| 年間配当金              | 21.50円 | (※2) <b>12.00円</b> | △9.50円  | △44.2% |

(※1) 法人税の「賃上げ・生産性向上のための税制」に基づく特別控除の適用を考慮しておりません

(※2) 今後の業績の伸び等に応じて、適時見直すことを予定しております





# Meiho Facility Works Ltd.

Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合がありますことをご了承ください。

